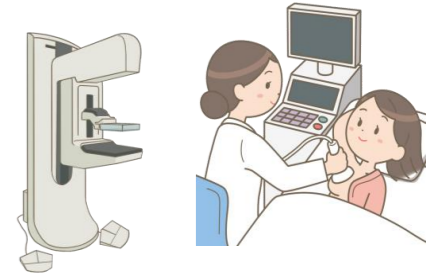


新型コロナウイルスワクチン接種後の 片側リンパ節腫大について



★新型コロナウイルスワクチン接種後に、接種側の片側性リンパ節腫大が発症することが確認されています

この反応は病気ではなく、**良好な免疫反応を獲得している徴候なので、安心してください**

ワクチン接種後早くても1～2日で発症し、10週間後まで持続することが報告されています

乳がん検診はワクチン接種前に施行するか、2回目ワクチン接種後6～10週の間隔をおき施行することがよいと推奨されています

お願い



乳がん検診を受診される方の中でワクチン接種後10週末満の方は、触診・マンモグラフィ・乳腺超音波を受診される際、スタッフにその旨をお伝えください